

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	利用者の加齢のため、認知症の進行や身体状態の変化など、思わぬ事故が増えてきた。	1人1人が安心安全な生活ができるようにする。	ヒヤリハットを活用し、職員全体で危険予知をおこない、チーム全体として問題点を共有し、事故防止に努める。	3ヶ月
2	1	技能実習生の方が4月から来ることになっている為、理念に沿ったケアを行うのが難しくなる。	職員が理念に沿った介護ができ、技能実習生の手本となることができる。	ミーティングや面談などで理念の周知と徹底をおこなう。	3ヶ月
3			言葉がけなど、職員同士で指摘し合い、お互いが気を付けることができる環境にする。	不適切なケアの事例検討や虐待、スピーチロックなどの研修を行い、良かったところ、悪かったところを話し合い、継続的に検討していけるようにする。	12ヶ月
4	49	コロナ禍の為、外出支援や施設での行事も消極的だった。 11時からは散歩の時間と決まっても業務を優先してしまいなかなか外出できていない。	1階、2階で協力し、合同で行事を行う。	年間行事を決め、担当を振り分けし季節ごとの行事を行う。	3ヶ月
5			天気の良い日は散歩に行く。	1階、2階でお互い声をかけあい、一緒に散歩に行けるようにする。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。